企業名	公益財団法人ベルマーク教育助成財団
所在地	東京都中央区築地 5-4-18 汐留イーストサイドビル7階
業種	その他の事業
常用労働者数	26人
事業内容	教育援助
ホームページ	http://www.bellmark.or.jp/

1 ニーズ調査

①実施日及び実施方法

平成30年11月12日、調査票を都内に勤務する全従業員に配布

②対象者数、回収数、回収率

対象者23名、回収数21名、回収率 $21/23=91.3\%$

③調査結果概要（調査により明らかになった課題）

・現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について

現在も介護をしていると回答いただいた方は、全体の約2割いらっしゃいました（介護対象者の有無については、次の項目をご覧ください）。

・今後の従業員の介護見込みについて

これまでは介護経験がないが、今後5年以内に介護する可能性が「少しある」と回答いただいた方が一番多く（71%）、次いで「介護することはない」（18%）、「介護する可能性がかなり高い」（12%）の順になりました。身近に介護対象者がいらっしゃると考えている方が圧倒的に多いことが分かります。

・就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について

調査の結果、「制度があることは知っているが、内容はわからない」が48%と高く、次いで「どのような制度があるかは知っており、内容もおおよそわかる」が43%となりました。制度自体の認知度は高いものの、全体の約5割弱の方がその内容までは分からないという結果です。

・介護と仕事の両立に関する不安について

「介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しを立てにくいこと」が48%と高い結果になりました。介護は比較的長期化傾向にありますので、その点を不安視している方が多いということが分かりました。

「未回答」（33%）の次に多かったのが「公的介護保険制度の仕組みが分からないこと」（29%）という不安でした。

・介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について

最も高かった回答が「介護休業や介護のための短時間勤務などの支援制度を利用しつつ、できるだけ普通に働き続けながら、仕事と介護を両立する」が76%でした。次いで「介護が必要な時期は休業制度を利用して自分が介護をして、その後仕事に復帰する」が19%でした。

また、望ましい社内制度については、「短時間勤務制」「時間単位年休」を選択する方が62%と最も高く、次いで「フレックスタイム制」「始業・終業時刻の繰上げ又は繰り下げ」が43%となりました。

2 プロジェクトチームの設置及び運営状況

①設置日・メンバー

（設置日）平成30年11月12日

<p>(メンバー) 総計 2 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都内勤務者 経理部門 (計 2 名) ・ 都外勤務者 (計 0 名)
<p>②運営の状況 (開催日、検討内容及び参加者数)</p>
<p>第 1 回 : 平成 30 年 11 月 26 日 活動内容及びスケジュールの確認 (2 名参加)</p> <p>第 2 回 : 平成 30 年 12 月 21 日 調査結果概要説明、取組案の提示 (2 名参加)</p> <p>第 3 回 : 平成 31 年 1 月 16 日 取組案についての意見交換、確定 (2 名参加)</p>
<p>3 策定した取組計画 (内容及び取組時期)</p>
<p>平成 31 年度～ 介護休暇の日数を 1 日増加する</p> <p>平成 32 年度～ 介護休暇を時間単位で取得できる制度とする</p>